

■ 焼岳についてQ&A

Q1) 焼岳はどんな山なの？

A1) 焼岳は、数千～千数百年の間隔でマグマの噴出を繰り返してきました。近年では大正4年、大正14年、昭和37年などの水蒸気爆発を多数おこなっています。現在も噴気活動を続けており、しばしば群発地震も観測される**若い活火山**です。



Q2) 焼岳はまた噴火するの？

A2) 焼岳は、近年でも噴気活動や群発地震が発生しているため、今でも噴火する力を十分持っています。このため、今後はいつかわかりませんが、**近い将来再び噴火する可能性があります**。

Q3) 噴火をまえもって知ることはできるの？

A3) 噴火が始まる時刻まで正確に**予測することは難しい**です。しかし、マグマが関係した大噴火時は、地面のひび割れや噴気の変化など噴火前のさまざまな前兆現象があると思われます。ただし、水蒸気爆発の前兆現象については、よくわかっておらず、突然発生する可能性もあります。

Q4) いつの時点で避難すればいいの？

A4) 火砕流や火砕サージは時速100km以上の高速で流れ下るため、**噴火が発生してから避難は間に合いません**。避難の指示等に従って「**早めの避難**」が大切です。マップで示されている危険区域以外へ避難しましょう。

Q5) 噴火に備えて何をしておけばいいの？

A5) 焼岳が活火山であることや、**どのような災害が考えられるかを知り**、家族や地区で避難と連絡の方法を**事前に話し合っておく**ことが大切です。また、非常持ち出し品をリュックサックに入れて**普段から準備**しておきましょう。

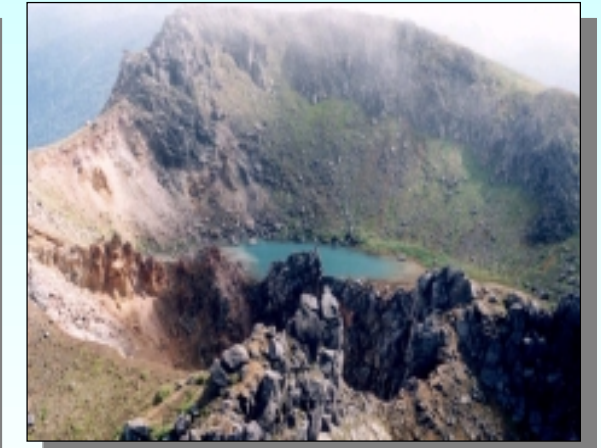
■ このマップの使い方

- ・マップ面を表にして、壁に貼ってお使いください。
- ・ご自宅の場所を書き込んで下さい。
- ・チェックリストを利用し、非常時持ち出し品を準備してください。

焼岳火山防災マップは、今後新たな調査の進展により
内容が明らかとなった時点で順次更新していきます。

- ・発行：焼岳火山噴火警戒避難対策協議会
- ・企画調査：財団法人 砂防・地すべり技術センター
- ・監修：焼岳火山噴火警戒避難対策専門委員会【委員長：水山高久（京都大学大学院教授）】
- ・問い合わせ先：上宝村役場 TEL0578-6-2111
安曇村役場 TEL0263-94-2301
- ・発行日：平成14年3月28日 (Ver.1.0)

焼岳火山防災マップ



■ 「焼岳火山防災マップ」の目的

この焼岳火山防災マップは、近い将来、焼岳が噴火した時に想定される噴火の性質や規模、災害予想区域などについてまとめたものであり、これらの内容を多くの方に理解していただくことで、**焼岳が噴火した場合の被害をできるだけ小さくすることを目的としています**。

もしもの焼岳火山噴火に備えて、このマップに記載されている内容を普段からよく読んで、焼岳が噴火した場合にはあわてず落ち着いて行動するように心がけましょう。